

世界3大自転車レース「ジロ・デ・イタリア」初参戦



会見する大門監督

NIPPOが活動を支援している自転車ロードレースチーム「NIPPO・ウィーニファンティニ」が、世界3大自転車レースの一つである「ジロ・デ・イタリア」に初参戦する。日本企業がメーシンスポンサーに入ったチームがジロ・デ・イタリア

NIPPOチーム

に参加するのは初めて。チームを指揮する大門監督は15日、レースを前に東京・京橋のNIPPO本社で記者会見し、「21に分けられたステージ(区間)の一つでは勝ちたい。可能性は十分にある」と意気込みを語った。

ジロ・デ・イタリアは、毎年5月に3週間にわたってイタリアを一周する自転車ロードレースで、ツール・ド・フランスと並ぶメジャー大会。NIPPO・ウィーニファンティニは今年、国際自転車競技連合(UCI)の最上位チームが集まるプロフェッショナルチームに次ぐ「プロコンチネンタルチーム」に昇

大門監督「まずはステージ優勝を」

格。平均年齢25歳という若手中心のチーム編成などが評価され、ジロ・デ・イタリアの主権者による特別推薦(ワイルドカード)での出場が決定した。

大門監督はチームに所属する17人から9人を選抜。黒枝土輝、石橋学、山本元喜の3人の日本人選手の中から一人が参戦する予定。レースは5月9日にイタリア北西部のリグーリア海岸をスタート。22チームが21ステージを走り、5月31日のゴール・ミラノを目指す。

大門監督は「走行距離が3400km、高低差は4万3000mの過酷なレースだ。日本人の競技レベルでは完走することさえ難しいかもしれない。プロコンチネンタルチームに昇格して1年目でワイルドカードを得ることは異例のことだ」と説明。今回の出場でロードレースが注目を集め、「子どもたちが競技を始めるきっかけになればいい」と述べた。

NIPPOは1987年にロードレースチームを発足。日本初のステージレース「ツール・ド・北海道」のオフィシャルスポンサーも務め、日本のロードレース界を支援している。NIPPOの関係者は「2020年東京五輪の自転車競技で活躍する日本人選手を育てたい。この大会はその一歩」と話す。NIPPOの水島和紀会長もジロ・デ・イタリアのレース期間中に現地を訪れ、選手を激励するといふ。

3大自転車ロードレース「ジロ・デ・イタリア」 世界の大舞台で1勝目指す

NIPPOがサポートする自転車ロードレースのプロチーム「NIPPO・ヴィーニファンティニー」(イタリア)が5月9日からイタリアで開かれる世界3大ロードレースの1つ「ジロ・デ・イタリア」に出場する。同チームは2015年からカテゴリーをランクアップし、「UCI(国際自転車競技連合)プロコンチネンタルチーム」(セカンドディビジョン)に昇格した。チームを率いる大門監督は、「昇格1年目でジロ・デ・イタリアに出場できるのは異例」とした上で、全21ステージあるレースの中で「1勝はあげたい」と目標を定める。

同社は、1985年に創設した前身の「日本舗道レーシングチーム」から自転車ロードレースチームをサポートし続けてきた。支援したチームは90年代からヨーロッパのレースにも出場し、近年は欧州を中心に世界ラン

NIPPO・ヴィーニファンティニー



大門監督

キングを視野に活動している。

NIPPO・ヴィーニファンティニーは、日本人3人を始め、イタリア、ルーマニア、コロンビア人が所属。ジロ・デ・イタリアは、カテゴリートップのUCIワールドチームとワイルドカード(主催者推薦)枠のプロコン

チネンタルチームで競う。主催者推薦枠は実力のほか話題性などを考慮して決められるが、大門監督は「17人の平均年齢が24、25歳であり、若い選手を育成するというチームコンセプトが評価された」と説明する。

レースは5月9～31日まで、イタリア全土を舞台に21ステージで競われる。走行総距離は約3481キロに及び、山岳ステージも含む過酷なレースだが、大門監督は「世界的な大舞台で活躍する場面が注目を集め、影響を与えられる機会になればと考えている」と若い日本人の活躍が次世代のレーサー誕生のきっかけになることに期待を寄せる。

NIPPOは、プロコンチネンタルチームでの活動などを通じて、20年開催の東京五輪を視野に世界のトップシーンで活躍する選手の育成に力を入れている。



トーナードで選手たちと記念撮影する水島和紀会長(中央)



若手育成に熱心な大門監督

NIPPOがフアー
ストネームスポンサー
となり活動をサポート
するロードレースチー
ム「NIPPO・ウィー
ニアンティニ」は、
4月からロードレース
カテゴリー上位2つ目
のプロコンチネンタル
チームに昇格し、5月
に開催されるワールド
ツアー「ジロ・デ・イタ
リア」に出場する。
出場にあたり取材に

「全体の若く平
均年齢は24〜25歳。若
さがアピー
ルポイント。
シロ・デ・イタ
リアでも若手が
多いチーム
だ。キャプ
テンはシロ
・デ・イタリ
アで優勝経
験のあるダ

応じた大門監督は、
「日本の企業名が入っ
ているチームでシロ・
デ・イタリアに参戦す
るのは日本で初めて。
世界自転車ロードレー
スの最高峰のグランツ
ールなので、21ステ
ージのどこか1つのス
テージで勝ちたい」と
意気込みを語る。

サポート自転車チーム昇格 NIPPO ジロ・デ・イタリアに出場

ミアノ・クネゴ選手
が率いている。また日
本人選手は、黒枝士揮
選手、石橋学選手、山本

「う」と若手選手が多い
ことあげた。
また、「他のスポンサ
ーとも若手の育成をし
ていきたいということ
で合意している。若手
を育て、いずれはワ
ールドツアーで活躍選
手になってもらいた
い。今いる日本人選手
は東京オリンピックの
頃にはもっと成長して
いると思うのでオリ
ピックでも存分に活躍
してもらいたい」と若
手育成に力を入れてい
る。
日本人選手について
は、「日本人の実力はま
だまだ。競技力をもっ
とつけなければと思っ
ている。自転車競技の
本場であるヨーロッパ
の厳しい環境で修練
し、世界のトップシー
ンで活躍してもらいた
い」と語る。
シロ・デ・イタリアは
5月9日から31日まで
3週間続けられる世界
自転車ロードレース
で、「ツール・ド・フラ
ンス」「フエルタ・ア
・エスパーニャ」に先駆
けて行われるグランツ
ールであり、山岳コー
スが険しく「最も過酷
なグランツール」と呼
ばれている。総距離は
3481.8キロあり、サ
ン・ロレンツォからミ
ラノを目指す。ステ
ージは全21ステージ。
大門監督は90年にN
IPPOに移籍し、3
年間選手として在籍。
その後もマネージャー
や監督などを務めチ
ームをサポートしてい
る。